



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2020年10月30日

上場会社名 株式会社 関西スーパーマーケット 上場取引所 東  
 コード番号 9919 URL http://www.kansaisuper.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 耕治  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 中西 淳 TEL 072-772-0341  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年11月17日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	65,530	4.5	1,884	96.0	2,057	79.7	1,368	74.5
2020年3月期第2四半期	62,719	1.6	961	9.9	1,145	8.2	784	15.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,584百万円 (134.3%) 2020年3月期第2四半期 676百万円 (5.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	44.95	—
2020年3月期第2四半期	24.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	55,252	34,685	62.8
2020年3月期	54,882	33,344	60.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 34,685百万円 2020年3月期 33,344百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年3月期	—	8.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,430	2.6	2,810	24.6	3,120	20.8	1,990	18.3	65.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 連結業績予想の修正につきましては、本日（2020年10月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	31,940,954株	2020年3月期	31,940,954株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,497,827株	2020年3月期	1,497,742株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	30,443,183株	2020年3月期2Q	31,443,772株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、第1四半期である4月～6月は急激に落ち込み、その後持ち直したかに見えますが、依然景気の先行きは不透明であります。

小売業界におきましては、政府から発令された緊急事態宣言や外出自粛要請の解除後も、衣料及び耐久消費財などの需要激減や内食需要が引き続き高まりを見せるなど消費に大きな変化が生じました。今後も、同感染症拡大が警戒される中、経済活動は徐々に再開の動きが見られるものの、企業収益の悪化や個人消費の落ち込みは避けられず、消費者の節約志向は一段と強まるとともに、ECやドラッグストアをはじめとする業種・業態を超えた競争は更に厳しさを増すことから、その影響を受けることが予測されます。

このような環境下において当社グループでは、お客様と従業員の安全・安心を確保することを最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止策を実施してまいりました。お客様が安心してお買物ができるようにアルコール自動手指消毒器の増設、ソーシャルディスタンス確保のためのフロアサイン表示、従業員が安心して仕事ができる職場環境づくりとしてマスク着用の義務付け、レジガードの設置、チェッカー係の手袋着用、諸会議や商談、研修会、採用活動におけるWeb等の活用などを進めております。また、休止しておりました折込みチラシを週1回に集約して再開することでお客様の買物スケジュールに役立てて頂くとともに、分散効果での混雑緩和のために10%引セールを週2回実施しております。さらに、エッセンシャルワーカーとして活躍する従業員への感謝と健康を願い、7月と8月の2回に渡り感謝特別支給金を支給、及び当社子会社を含む全従業員約6,000人へ合計4度の私用マスクの無償配布を実施いたしました。

このような状況の中、当社グループは最終年度となる3ヵ年中期経営計画において、「健康経営」「生産性向上」「教育」を3つの柱に掲げ、「営業方針」「人材力方針」「経営管理方針」「成長戦略」「コンプライアンス強化」「全社課題解決施策」を基本方針とし、お客様と従業員の「負」の解消を図るため、お客様、従業員、地域とともに環境問題への取り組みや社会貢献を通じて問題解決を行う「トータルソリューション型スーパーマーケット」の実現に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の取り組みとして「健康経営」では、健康増進法改正に伴う受動喫煙防止の徹底や、「大腸がん」の早期発見を目的とした便潜血検査を希望する従業員に対して実施いたしました。また、長く元気に働いていただくため、パート従業員の再雇用制度を最長75歳まで延長いたしました。

「生産性向上」では、「フィールドワークによる作業効率向上」「ハードの導入による作業合理化」「システム投入による作業種類数の削減」そして「神戸赤松台センター活用による店舗作業削減」に取り組んでおります。ハードの導入では、AI機能付「フライヤーリフター」の導入店舗を21店舗へ拡大いたしました。また、神戸赤松台センターによる惣菜の新規商品開発や、7月からは(株)阪急フードプロセスからの国内産若鶏ノントレー商品の取扱いを16店舗で開始するなど、お客様への魅力ある商品提供とともに店舗作業の削減に寄与しております。

「教育」では、新入社員の知識修得と不安解消並びに職場への定着化を目的とした「新入社員教育プログラム」を実施いたしました。7月からはお客様への情報提供をはじめ接客力向上を図るため、青果担当社員対象とした「ベジタブル&フルーツアドバイザー」の資格取得を開始いたしました。また、高齢者やお体が不自由なお客様への介助及びお買物のサポートを目的に、サービス介助士233名を配置するほか、惣菜を含む食品の開発・製造・加工に関する知識を習得した惣菜管理士2級及び3級の有資格者31名が、安全・安心な食品をお客様に提供することを目的に取り組んでおります。

店舗の改装として、4月にセルパ店(神戸市東灘区)、8月に駅前店(兵庫県伊丹市)、9月にフェスタ立花店(兵庫県尼崎市)をリニューアルオープンいたしました。また、6月よりお客様のさらなる利便性向上とSNSを活用した新規顧客獲得を目指して、全店で「LINEクーポン」を使用できるようにいたしました。

環境・社会貢献活動では、新型コロナウイルス感染拡大防止支援として、兵庫県伊丹市に対し4月に医療用防護マスクの寄附を行い、9月には感染症対策に関わる事業にお役立ていただくための寄附を決定いたしました。

また、レジ袋有料化については、7月1日より全店でバイオマス原料配合の環境に配慮したレジ袋を採用し、4店舗を除く60店舗でレジ袋有料化を実施いたしました。地域との連携では、日常のお買物にご不便をされているご高齢者、お身体の不自由な方などに商品をお届けする、移動スーパー「とくし丸」を3店舗で運行開始し、運行車両は合計15台となりました。

以上の結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績におきましては、営業を継続し新型コロナウイルス感染拡大抑制と内食需要の高まりなどお客様の買物行動の変化に対応することで、営業収益は655億30百万円(前年同期比4.5%増)となりました。お客様、従業員への同感染拡大防止策を講じるための備品の購入や、地域のライフラインを支えるため懸命に業務に精励した従業員に感謝し、アルバイトを含む全従業員への「感謝特別支給金」などによる営業経費が増加したものの、売上総利益が上回ったことにより、営業利益は18億84百万円(前年同期比96.0%増)、経常利益は20億57百万円(前年同期比79.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億68百万円(前年同期比74.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は136億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億19百万円減少いたしました。これは主に、クレジットカード決済の減少等により売掛金が1億96百万円減少したことに加え、現金及び預金が1億14百万円減少したことによるものであります。固定資産は415億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億89百万円増加いたしました。これは主に、保有株式の評価差額の増加等により投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が3億14百万円、店舗の取得や改装等により建物及び構築物が2億60百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は552億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億69百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は149億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8百万円減少いたしました。これは主に、内食需要等の落ち着きによる仕入高の減少により買掛金が3億0百万円減少したことによるものであります。固定負債は55億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億63百万円減少いたしました。これは主に、債務の返済等により長期借入金が4億44百万円、固定負債のその他に含まれるリース債務が1億92百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は205億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億71百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は346億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億40百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が11億24百万円、その他有価証券評価差額金が2億15百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月30日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細については、本日（2020年10月30日）発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、新型コロナウイルス感染症が経済活動に与える影響を合理的に見通すことは依然困難であり、今後の景気・個人消費動向を注視し、業績予想の見直しが必要になった場合には、速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,939,118	7,824,560
売掛金	1,861,073	1,664,515
商品	2,549,376	2,487,417
貯蔵品	59,870	57,153
その他	1,565,562	1,621,542
流動資産合計	13,975,000	13,655,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,181,584	9,442,516
土地	20,885,024	21,072,924
その他（純額）	2,287,312	2,484,744
有形固定資産合計	32,353,921	33,000,186
無形固定資産		
	431,082	462,294
投資その他の資産		
差入保証金	4,546,617	4,431,230
退職給付に係る資産	861,737	874,712
その他	2,714,174	2,828,500
投資その他の資産合計	8,122,529	8,134,443
固定資産合計	40,907,533	41,596,924
資産合計	54,882,533	55,252,113

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,013,288	7,712,886
1年内返済予定の長期借入金	1,332,000	1,190,000
未払法人税等	655,030	682,058
賞与引当金	951,549	851,266
その他	4,325,644	4,533,275
流動負債合計	15,277,512	14,969,485
固定負債		
長期借入金	2,358,000	1,914,000
退職給付に係る負債	852,269	863,542
資産除去債務	491,592	493,502
その他	2,558,480	2,326,227
固定負債合計	6,260,341	5,597,272
負債合計	21,537,854	20,566,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,862,933	9,862,933
資本剰余金	10,906,837	10,906,837
利益剰余金	14,034,076	15,158,793
自己株式	△1,329,217	△1,329,320
株主資本合計	33,474,630	34,599,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,011	262,798
退職給付に係る調整累計額	△176,961	△176,688
その他の包括利益累計額合計	△129,950	86,110
純資産合計	33,344,679	34,685,354
負債純資産合計	54,882,533	55,252,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	61,730,386	64,545,097
売上原価	47,049,022	48,653,985
売上総利益	14,681,364	15,891,111
営業収入	989,037	985,830
営業総利益	15,670,401	16,876,941
販売費及び一般管理費	14,708,873	14,992,463
営業利益	961,528	1,884,478
営業外収益		
受取利息	3,043	3,181
受取配当金	16,005	15,239
持分法による投資利益	4,911	5,661
受取手数料	91,449	95,879
リサイクル材売却益	53,607	22,436
その他	43,725	52,592
営業外収益合計	212,742	194,990
営業外費用		
支払利息	17,546	11,771
株式管理費	6,638	6,812
その他	4,714	3,015
営業外費用合計	28,900	21,600
経常利益	1,145,370	2,057,868
特別利益		
投資有価証券売却益	52,297	—
受取保険金	9,451	—
特別利益合計	61,748	—
特別損失		
固定資産除売却損	6,072	19,951
投資有価証券売却損	51,671	—
災害による損失	6,676	—
特別損失合計	64,420	19,951
税金等調整前四半期純利益	1,142,698	2,037,916
法人税、住民税及び事業税	276,128	581,541
法人税等調整額	82,323	87,835
法人税等合計	358,451	669,376
四半期純利益	784,246	1,368,540
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	784,246	1,368,540



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	784,246	1,368,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,712	214,623
退職給付に係る調整額	△30,496	273
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,633	1,163
その他の包括利益合計	△107,842	216,060
四半期包括利益	676,403	1,584,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	676,403	1,584,601
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。